

メダルを取れば 双葉町の人達が また集まれる！

「久しぶり」メダルをつかみ、「再会の場」をつくる。ロンドン五輪自転車トラックで、2大会連続出場となる渡辺一成(28)日本競輪選手会が22日、出身の福島県双葉郡双葉町が同県郡山市内で開いた壮行会に出席。壇上で「集まれてよかった」といふ言葉を頂いた。僕もバラバラのまま生活してほしくない。1つになるきっかけになりたい」と固い決意を述べた。

「久しぶりだね」元氣でしたか。会場に集まった約150人の町民からは、それぞれの再会を喜ぶ声が漏れた。震災後初めて、近所に住んでいた人に出会ったという人が多かった。同町は福島第一原発の影響で警戒区域に指定され、今も住民の立ち入りが制限されている。役所などの行政機能は埼玉県加須市に移転し、町民約7000人は各地で避難生活を送っている。



「久しぶり」メダルをつかみ、「再会の場」をつくる。ロンドン五輪自転車トラックで、2大会連続出場となる渡辺一成(28)日本競輪選手会が22日、出身の福島県双葉郡双葉町が同県郡山市内で開いた壮行会に出席。壇上で「集まれてよかった」といふ言葉を頂いた。僕もバラバラのまま生活してほしくない。1つになるきっかけになりたい」と固い決意を述べた。

祝辞を述べた井戸川町長は「双葉町がまた1つに向かっていく原動力を与えてくれている」と感謝する。町役場が置かれる加須市の成くんが頑張っているから

原発3キロ 高橋まで過ぎた実家が原発から約3キロにある渡辺自身も、震災後は1度も郷里に帰っていない。だが、「今日も近所だった方に」成くんが頑張っているから

「久しぶり」メダルをつかみ、「再会の場」をつくる。ロンドン五輪自転車トラックで、2大会連続出場となる渡辺一成(28)日本競輪選手会が22日、出身の福島県双葉郡双葉町が同県郡山市内で開いた壮行会に出席。壇上で「集まれてよかった」といふ言葉を頂いた。僕もバラバラのまま生活してほしくない。1つになるきっかけになりたい」と固い決意を述べた。

ロンドンオリンピック 自転車競技

福島県双葉町

頑張れ 渡辺一成選手

町民からの応援メッセージが書き込まれた日の丸 ⑤壇上であいさつする渡辺

◆渡辺一成(わたなべ かしなり) 1983年(昭58)8月12日、福島県双葉郡双葉町生まれ。小高工高卒業後の02年に日本競輪学校入学。03年にデビュー後は順調にS級に昇格、今年4月の共同通信社杯(GII)で特別レース初優勝。通算獲得賞金2億3110万1500円。日本代表には04年から選出され、北京五輪はチームスプリント6位入賞、個人スプリントは12位。12年世界選手権ではチームスプリント4位、ケイリン5位。家族は10年10月に結婚した粹夫人。父善行さん、母知子さんは神奈川県大和市で避難生活を送る。176センチ、80キロ。